

JAPAN
HERITAGE
KANMON
"NOSTALGIC"
STRAITS



北九州市・下関市

日本遺産

日本遺産 JAPAN HERITAGE
関門“ノスタルジック”海峡
～時の停車場、近代化の記憶～
Kanmon "Nostalgic" Straits - Memories of Japan's modernization frozen in time

JAPAN
HERITAGE
KANMON
"NOSTALGIC"
STRAITS



日本遺産(Japan Heritage)は
地域の歴史的な出来事や伝承、風習
などを1つのストーリーとしてま
とめ、文化庁が認定したものです。

関門“ノスタルジック”海峡 認定ストーリー

～時の停車場、近代化の記憶～



プロローグ

関門地域を空から見下ろすと、本州と九州とが互いに手を伸ばし、今にも陸続きになりそうな地形が目にに入ります。海峡を挟んだ両岸からは、山々が海にせり出すように対峙し、そこからは大型のタンカーや旅客船が途切れることなく往来する海峡景観とレトロな近代建築が建ち並ぶ街並みを望むことができます。関門海峡沿岸は、明治から昭和初期にかけて共に急速な発展を遂げ、当時最先端の意匠と技術で建てられた近代建築が現代の街並みの中で大切に残されています。密接な交通網で結びついた海峡両岸の港町は、渡船や海底トンネルを使って気軽に巡ることができます。

関門海峡の歴史地理的位置

古代以来、官道や主要な街道は関門の地で結びつき、多くの人や物資の交流が行われてきました。瀬戸内海と日本海との結節点でもある関門海峡は、陸路と海路の十字路を形成し、幕末には外交や通商を迫るために、西洋諸国の黒船も通過するようになります。

その重要性を理解していた長州藩の志士は、海峡を封鎖し攘夷を実行しました。これを契機に下関戦争が起こり、日本が開国へと舵を切り、歴史の潮流を変えるターニングポイントとなったのです。

国際港湾都市「関門港」の開港と発展

下関戦争で大敗した長州藩は、元治元(1864)年、講和使節に高杉晋作を任命して講和を成立させ、下関港は事実上、開港しました。

海外との玄関口となった関門海峡には、幕府が英国との間で締結した大坂条約(慶応3=1867年)により洋式灯台が設置されることになりました。プラントン率いる英国人技術者集団が海峡西側の六連島灯台と東側の部埼灯台を設計し、ともに1872年に初点灯され、日本の文明開化と関門海峡を照らし始めたのです。この双子の洋式灯台の灯に導かれて、江戸時代から北前船の寄港地であった下関港と、背後に筑豊炭田という石炭の大供給地と若松という石炭中継地を抱えた門司港は、共に特別輸出港や大陸との定期航路の寄港地に指定され、国際港湾都市として一躍注目を集めることとなります。そのきっかけは、明治8年(1875)の横浜・神戸・上海間定期航路の就航であり、その後、朝鮮との貿易港指定を契機に、創業間もない大阪商船株式会社や日本郵船株式会社が進出しました。明治22年(1889)には九州鉄道の開通にともなって門司駅(現門司港駅)が設置され、陸上と海上輸運の集散地として賑わうようになります。

関門地域の国際的な重要性を早く見出した駐日英國公使アーネスト・サトウの提案により、明治34年(1901)、下関に英國領事館が開設され、その5年後には煉瓦造の下関英國領事館が建てられます。明治後期から大正にかけて日本銀行をはじめとする金融、三菱や三井などの商社、鈴木商店の資本による食品工場群などの拠点が続々と関門海峡沿いに開設され、重厚な構造かつ当時最先端の意匠をもった近代建築が林立する街並みが形成されていきました。

また、この地域では、伊藤博文が春帆閣においてフグ食を解禁して以来、フグ刺しや鍋、唐揚げ、白子、鰐酒など様々なフグの食べ方を通して地元では幸福をもたらす「ふく」料理と呼ばれて親しまれているほか、海外航路の拡大に伴い、台湾から大量に輸入されたバナナの叩き売りはこの地域の名物となり、現代に伝えられています。

「海峡七路」の完成

昭和に入り、海峡の両岸を海底で結ぶ関門鉄道トンネルの建設が計画され、昭和17年(1942)に下り線が、同19年(1944)年に上り線が開通します。この世界最初の海底トンネルの完成により、文字どおり「関門」として立ち塞がっていた海峡が、陸路によって突破されました。その後、車道・人道トンネルの開通、さらに関門橋の架橋により、関門海峡に「海峡七路」と称される多様な交通網が完成します。それまで陸上と海上交通の結節点としての役割を担ってきた関門地域は、本州・九州間の通過点となり、明治から昭和初期にかけての重厚な近代建築群がまるで時が止まったかのように残ることになりました。

関門ノスタルジック海峡～時の停車場、近代化の記憶～

関門海峡には、外国船がもたらした舶来文化が根付き、狭い海峡を行き交う景観の中に、日本が近代国家建設へ向け躍動した時代のレトロな建造物群が現在も大切に残されています。「海峡七路」を使って两岸を巡れば、まるで映画のワンシーンに紛れ込んだような、ノスタルジックな街並みに出会うことができます。



旧秋田商会ビル(下関市)



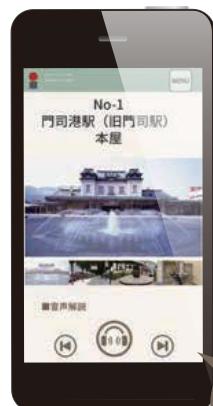
旧門司税關(北九州市)



部埼灯台(北九州市)

関門“ノスタルジック”海峡 構成文化財一覧

～時の停車場、近代化の記憶～



構成文化財の
詳細はここを
チェック！



音声ガイド
も楽しめるよ



1 門司港駅(旧門司駅)本屋 国指定重要文化財(建造物)

門司駅の2代目駅舎として、大正3(1914)年に建築された木造モルタル塗の建物。



4 北九州市旧大阪商船 国登録有形文化財(建造物)

大正6(1917)年に竣工した木造、一部煉瓦型枠鉄筋コンクリート造2階建の大坂商船の社屋。門司港を大陸航路の一大拠点とした。



5 旧門司三井俱楽部 本館、附属屋 国指定重要文化財(建造物)

門司に進出した商社・三井物産門司支店が接客や宿泊用に建設した施設。木造2階建、大正10(1921)年竣工。北九州における大正期の近代化を示す建物。



6 ホーム・リンガ商会 未指定(建造物)

明治の日本の貿易に大きく貢献した、イギリス人貿易商が長崎で設立した会社「ホーム・リンガ商会」の系譜を受け継ぐ、淡い色使いが印象的な建築物。昭和37(1962)年竣工。



7 旧大連航路上屋 未指定(建造物)

中国・大連をはじめ、世界各地を結ぶ国際航路の旅客ターミナルとして建てられた。
昭和4(1929)年竣工。



福岡県北九州市門司区西海岸1-3-5

8 北九州銀行門司支店 (旧横浜正金銀行門司支店) 未指定(建造物)

貿易融資や外国為替を専門に扱った横浜正金銀行の支店。鉄筋コンクリート造2階建。昭和9(1934)年竣工。



福岡県北九州市門司区清滝2-3-4

9 三宜樓 未指定(建造物)

経済発展を遂げた門司港を代表する大型旅館。現存する料亭の建屋としては、九州最大の木造3階建。
昭和6(1931)年竣工。



福岡県北九州市門司区清滝3-6-8

10 九州鐵道記念館(旧九州鐵道本社) 国登録有形文化財(建造物)

明治21(1888)年に設立された九州鐵道の本社屋。
明治24(1891)年竣工。



福岡県北九州市門司区清滝2-3-29

11 門司区役所(旧門司市役所) 国登録有形文化財(建造物)

モダンな外観デザインを有する旧門司市庁舎。鉄筋コンクリート造3階建。昭和15(1930)年竣工。



福岡県北九州市門司区清滝1-1-1

12 旧門司税關 未指定(建造物)

門司税關が発足したのを契機に、明治45(1912)年に建設された税關廈。煉瓦造り瓦葺2階建。昭和初期まで税關廈として使用される。



福岡県北九州市門司区東港町1-24

13 岩田家住宅主屋、土蔵 北九州市指定有形文化財(建造物)

明治32(1899)年から門司港地区で酒類販売を行ってきた岩田家の店舗兼住宅。木造2階建。大正10(1921)年上棟。



福岡県北九州市門司区東本町2-6-24

14 世界平和パゴダ 国登録有形文化財(建造物)

昭和33(1958)年、日本で唯一ミャンマー仏教会に認められたミャンマー式寺院として門司の和布刈公園内に建てられた。第二次世界大戦の戦没者の慰靈や日本・ミャンマー両国の親善、世界平和を目的としている。



福岡県北九州市門司区門司3251-4

15 ニッカウヰスキー(株)門司工場製造場 (旧大里酒精製造所 製造場) 未指定(建造物)

鈴木商店が大正3(1914)年に創設した焼酎工場。当時は朝鮮や中国向けに輸出する焼酎を製造していた。



福岡県北九州市門司区大里元町2-1

16 ニッカウヰスキー(株)門司工場倉庫 (旧大里製粉所 倉庫) 未指定(建造物)

鈴木商店が明治時代末に起業した大里製粉工場の倉庫。ニッカウヰスキーの倉庫として今も使われ続けている。



福岡県北九州市門司区大里元町2-1

17 旧サッポロビール九州工場 事務所棟、醸造棟、組合棟、倉庫 国登録有形文化財(建造物)

明治45(1912)年に設立した「帝国麦酒株式会社」の工場として建設。事務所棟と醸造棟は大正2(1913)年竣工。



福岡県北九州市門司区大里本町3-6-1

18 部埼灯台 国重要文化財(建造物)

旧暦明治5年1月(西暦1872年3月)に初点灯した灯台。関門海峡西口にある六連島灯台とほぼ同じ設計で、同じ時期に設置された双子灯台。



福岡県北九州市門司区大字白野江

構成文化財一覧

19

せきたんかいかん
石炭会館

未指定(建造物)

迎賓館や会議室としても利用された、若松区に現存する最古の洋風建築。



福岡県北九州市若松区本町1-13-15

20

きゅうふるかわこうぎょうわかまつ
旧古河鉱業若松ビル

国登録有形文化財(建造物)

筑豊炭田で産出された石炭の中継地として栄えた若松を代表する近代建築。煉瓦造2階建。大正8(1919)年竣工。



福岡県北九州市若松区本町1-11-18

21

うえの きゅうみつしごうし がいしゃわかまつしん
上野ビル(旧三菱合資会社若松支店)

本館・倉庫棟、旧分析室ほか

国登録有形文化財(建造物)

筑豊からの石炭販売、運送業を担った三菱合資会社の社屋。本館は煉瓦造3階建で倉庫棟は煉瓦造2階建。旧分析室は木造平屋建。大正2(1913)年竣工。



福岡県北九州市若松区本町1-10-17

31

きゅうしものせきいいくりょう じ かん
旧下関英國領事館

国指定重要文化財(建造物)

英國領事館の施設として明治39(1906)年に建設された煉瓦造の建物。



山口県下関市唐戸町4-11

32

きゅみやさきしょうかん
旧宮崎商館

国登録有形文化財(建造物)

石炭輸出入を営む商館として明治40(1907)年に建設された建物。



山口県下関市田中町4-10

33

きゅういしんしょじものせきゆうひんよくでん わ かちょうしゃ
旧遞信省下関郵便局電話課庁舎

(下関市立近代先人顕彰館/田中締代ぶんか館)

下関市指定有形文化財(建造物)
電話需要の増加に応えて大正13(1924)年に通信省によって建設された建物。



山口県下関市田中町5-7

外観のみ
見学可

22

とちき
朽木ビル

未指定(建造物)

造船と船舶代理業を行う朽木商事の本社ビル。当時としては珍しい半地下室、自家用浄化槽等を備える鉄筋コンクリート造3階建。大正9(1920)年竣工。



福岡県北九州市若松区本町1-15-10

23

りょうていきんなんべほんかん おもともの
料亭金鍋本館、表門

国登録有形文化財(建造物)

若松の市街地に位置し、明治、大正期から営業していた多くの料亭の中でも著名な店のひとつ。本館は木造3階建。現在の建物は大正6(1917)年頃竣工。



福岡県北九州市若松区本町2-4-22

24

しものせきえき しんらい
下関駅の振鈴

JR西日本の登録鉄道文化財

JR下関駅開業当初から使われ続け、火災で焼失したと思われていた大型ハンドベル。



山口県下関市竹崎町4-3-1(下関駅内)

外観のみ
見学可

25

はちや
蜂谷ビル

きゅうとうようほいかぶしきがいしゃしものせきしてん
(旧東洋捕鯨株式会社下関支店)

国登録有形文化財(建造物)

旧東洋捕鯨株式会社下関支店として大正15(1926)年に建設され、それ以来捕鯨活動の拠点となった建物。



山口県下関市岬之町13-7

26

やまぐちきんこうきゅうほんてん
山口銀行旧本店

山口県指定有形文化財(建造物)

明治9(1876)年に下関門地域に進出した三井銀行が、下関支店として大正9(1920)年に新築した建物。昭和8(1933)年の百十銀行本店を経て、昭和19(1944)年から昭和40(1965)年まで山口銀行本店として使用された。



山口県下関市観音崎町10-6

27

ちゅうごくろうどうきんこうしのせきしてん
中国労働金庫下関支店

きゅうふどうちょきんぎんこうしのせきしてん
(旧不動貯金銀行下関支店)

未指定(建造物)

下関側の銀行街に建てられた、画期的な免震基礎を持つ旧不動貯金銀行下関支店。鉄筋コンクリート3階建、昭和9(1934)年竣工。



山口県下関市南部町21-23

通常
非公開

37

みつじゅじゅうきょうかぶしきがいしゃしものせきそくせんしょ
三菱重工業株式会社下関造船所

たいたい

第3ドック、第4ドック

未指定(建造物)

大正3(1914)年山口県下関市彦島に設立した造船所。第3ドックは大正11(1922)年竣工の石造で、第4ドックは大正5(1916)年竣工の石造。



山口県下関市彦島江の浦町6-16-1

通常
非公開

40

かんもんすいどう
閑門隧道下り線

かんもんすいどう
閑門隧道上り線

未指定(建造物)

戦時の日本軍に最優先事項の工事として位置づけられた、世界初の海底トンネル。



福岡県北九州市/山口県下関市

通常
非公開

38

きゅうまないしたようひょう
旧祖礁標

国指定重要文化財(建造物)附

明治4(1871)年に設置された閑門海峡の礁標を大正9(1920)年に旧金ノ弦岬灯台として改修・移築した灯台。平成12(2000)年に廃止されるまで、閑門航路を照らした。



山口県下関市大字彦島金ノ弦岬

通常
非公開

41

たた う
バナナの叩き売り

未指定(無形民俗)

大阪商船や日本郵船により台湾航路が確立し、安定して大量のバナナが閑門港に輸入されるようになった。軽妙な売り口上による掛け合いは「バナナの叩き売り」として定着し、現在も閑門の風物詩となっている。



福岡県北九州市/山口県下関市

通常
非公開

42

りょうり
フグ料理

未指定(無形民俗)

伊藤博文が明治21(1888)年にフグ食を解禁。以来、地域の近代化とともに、郷土の代表的味覚として、多様な食文化を作っている。また、素材のフグは、地元では「福」に通じる「ふく」と呼ばれ、親しまれる存在となっている。



福岡県北九州市/山口県下関市

関門“ノスタルジック”海峡 門司周遊コース

～時の停車場、近代化の記憶～



旧門司三井俱楽部 構成文化財 | 5

きゅうもじみついくらぶ

大正10(1921)年に三井物産の社交場として建設され、大正11(1922)年には相対性理論で有名なアルベルト・アインシュタイン博士が宿泊。今は門司出身とされる作家・林英美子記念室と観光案内所としても利用されています。1階のレストラン「三井俱楽部」では、ふぐのフルコースや焼きカレーを楽しんで。

DATA

■ 福岡県北九州市門司区港町
7-1
☎ 093-321-4151
(門司港レトロ総合
インフォメーション)
營 9:00~17:00
休 なし



海峡プラザ

かいきょうプラザ

門司港レトロ地区の中心施設「海峡プラザ」。

地元の海産物やお土産をはじめ、門司港名物の焼きカレー、バナナ叩き売り発祥にちなんだバナナスイーツなどの地元グルメを味わえるレストランもあります。レトロな雰囲気が漂うオルゴール専門店やガラス雑貨専門店など、雑貨店も見せません。

DATA

■ 福岡県北九州市門司区港町5-1
☎ 093-332-3121
營 物販10:00~20:00
飲食11:00~22:00(店舗により異なる)
休 なし



ブルーウィングもじ

ブルーウィングもじ

全長約108m、全国で最大級の歩行者専用はね橋です。1日に6回、音楽に合わせて橋が上がります。橋が跳ね上がって閉じたのち、1番目に手をつないで橋を渡ったカップルは一生結ばれるとと言われ、「恋人の聖地」に選定されました。



北九州市旧大阪商船 構成文化財 | 4

きたきゅうしゅうしきゅうおおさかしようせん

大正6(1917)年に大阪商船門司支店として建設された建物です。外壁のオレンジ色のタイルと白い石の帯、八角形の塔屋が特徴で「港の美貌」と謳われました。

DATA

■ 福岡県北九州市門司区港町
7-18
☎ 093-321-4151
營 9:00~17:00
休 無料
※ わたせせいぞうギャラリーのみ
有料、大人100円 子ども50円
休なし



旧門司税關 構成文化財 | 12

きゅうもじぜいかん

明治45(1912)年に建設され、平成6(1994)年に赤煉瓦を使って修復・復原された建物。

1階には休憩室や喫茶店「Fru Factory Moon de Retro」があり、2階の展望室からは門司港レトロが一望できます。

DATA

■ 福岡県北九州市門司区
港町4-1
開橋時間
10:00 / 11:00 / 13:00 /
14:00 / 15:00 / 16:00
閉橋時間
10:20 / 11:20 / 13:20 /
14:20 / 15:20 / 16:20

関門“ノスタルジック”海峡 若松周遊コース

～時の停車場、近代化の記憶～



上野ビル(旧三菱合資会社若松支店) 構成文化財 | 21

うえのビル きゅうみつびしがいしゃわかまつしてん

本館、倉庫棟、旧分析室ほか

ほんかん そう こ とう きゅうぶんせきしつ

大正2(1913)年に三菱合資会社によって建てられた煉瓦造の建物です。天井にはめ込まれたステンドグラスや手摺に施された装飾などが見どころ。3階にはレトロでおしゃれな「Asa Cafe」があります。

DATA

■ 上野ビル
福岡県北九州市若松区本町1 ☎ 093-761-4321
營 無料 休なし
■ Asa Cafe
福岡県北九州市若松区本町1 3階
☎ 093-771-8700
營 11:00~18:00(L.O17:00)
休 木曜日



旧古河鉱業若松ビル 構成文化財 | 20

きゅうふるかわこうぎょうわかまつビル

大正8(1919)年に建てられた煉瓦造り2階建ての建物。ルネサンス様式の意匠が随所に光る建物内には煉瓦壁や階段など当時の面影が残っています。

DATA

■ 旧古河鉱業若松ビル
福岡県北九州市
若松区本町1-11-18
☎ 093-752-3387
營 9:00~17:00
休 無料
休 火曜日、年末年始



三日月屋

みかづきや

石炭会館1階に入るクロワッサンの専門店。レトロな扉の先には職人が一つひとつ手作りで作り上げたクロワッサンやラスクなどが並んでいます。濃厚なバターの香りとパリッとした食感で、地元の人はもちろん観光客にも愛されている一品です。

DATA

■ 石炭会館
福岡県北九州市
本町1-13-15 1F
☎ 093-771-7979
營 9:30~19:00
休 なし



石炭会館 構成文化財 | 19

せきたんかいかん

明治38(1905)年に石炭関係者をもてなす場所として建てられた、若松エリアに残る最古の洋館です。多彩な装飾が施されていた外観は現存していませんが、2階の事務室などには竣工時の特徴が残されています。



料亭金鍋本館 表門 構成文化財 | 23

りょうてい きんぱく ほんかん

創業して今年で123年を迎える老舗の料亭。名物は開業当時から出している牛鍋で、伊万里牛のサーロインを八丁味噌で炊きます。明治の雰囲気を感じながら味わえるランチの懐石料理もおすすめ。

DATA

■ 金鍋本館
福岡県北九州市
若松区本町2-4-22
☎ 093-761-4531
營 11:00~15:00、
17:00~22:00
休 不定



※新型コロナウイルス感染防止対策のため、営業時間や休館日が変更されることがあります。

関門“ノスタルジック”海峡 下関周遊コース

～時の停車場、近代化の記憶～



旧下関英國領事館 構成文化財 | 31

きゅうしもものせきいこくりょうじかん

明治39(1906)年に英國領事館として建設された煉瓦造りの建物です。1階は展示室とイギリスの雑貨やお菓子を販売するショップがあり、2階には喫茶・レストランがあります。ピーターラビットのオリジナルアフタヌンティーで贅沢なひと時を。

DATA

山口県下関市唐戸町
4-11
083-235-1906
9:00~17:00
休火曜日(祝日は開館)



唐戸市場
からといしば

毎週末と祝日開催の「活きいき馬関街」には19店舗の海鮮屋台やフクやマグロの専門店がずらり。寿司やフク料理、海鮮丼などの新鮮な魚介を使ったメニューが楽しめます。2階のテーブル席や屋上広場、外のウッドデッキで関門海峡を眺めながらどうぞ。

DATA

山口県下関市唐戸町
5-50
083-231-0001
(唐戸市場業者連合協同組合)
市場
5:00~15:00(月~土)
8:00~15:00(日・祝)
活きいき馬関街
10:00~15:00(金・土)
8:00~15:00(日・祝)
※営業時間は店舗により異なります。

△不定



旧秋田商会ビル 構成文化財 | 28

きゅうあきたしょうかいビル

大正4(1915)年に建設された日本近代建築を代表する建物です。1階は純洋風の事務所があり、2階と3階には書院造の住宅、屋上には日本庭園を設けた和洋折衷の設計が特徴的。

DATA
山口県下関市南部町22-8
083-222-0161



旧秋田商会ビル 構成文化財 | 29

きゅうあきたしょうかいビル

大正4(1915)年に建設された日本近代建築を代表する建物です。1階は純洋風の事務所があり、2階と3階には書院造の住宅、屋上には日本庭園を設けた和洋折衷の設計が特徴的。



DATA

山口県下関市南部町
23-11
083-231-4141
10:30~16:00
休火・水曜日

関門“ノスタルジック”海峡 エリアマップ



- 1 門司港駅(旧門司駅)本屋
- 2 旧JR九州本社ビル
- 3 門司郵船ビル(日本郵船門司支店)
- 4 北九州市旧大阪商船
- 5 旧門司三井倶楽部 本館・附属屋
- 6 ホーム・リンクガ商会
- 7 旧大連航路上屋
- 8 北九州銀行門司支店(旧横浜正金銀行門司支店)
- 9 三宜樓
- 10 九州鉄道記念館(旧九州鉄道本社)
- 11 門司区役所(旧門司市役所)
- 12 旧門司税關
- 13 岩田家住宅 主屋、土蔵
- 14 世界平和パゴダ
- 15 ニッカウヰスキー(株)門司工場製造場(旧大里酒精製造所製造場)
- 16 ニッカウヰスキー(株)門司工場倉庫(旧大里製粉所倉庫)
- 17 旧サッポロビール九州工場事務所棟、醸造棟、組合棟、倉庫
- 18 部埼灯台
- 19 若松炭会館
- 20 旧古河鉱業若松ビル
- 21 上野ビル(旧三菱合資会社若松支店)
- 22 桜木ビル
- 23 料亭金鍋本館、表門





ホームページで

まずは情報収集！ 公式ホームページ: <https://www.japanheritage-kannmon.jp>

構成文化財の詳細な説明やノスタルジックな閨門地域を再現したVR昔旅、最新の地域イベント情報を掲載しています。二次元バーコードをチェック！！



Kanmon Nostalgic "Straits"
- Memories of Japan's modernization frozen in time -

日本遺産
閨門"ノスタルジック"海峡
～時の停車場、近代化の記憶～

認定ストーリーはこちらをクリック

構成文化財一覧 VR昔旅 私の旅手帳 閨門コンシェルジュ 閨門SNS拡張 お知らせ 日本遺産

VRで

リアルな再現で当事の様子を体感しよう！

最先端技術で再現されたVRが楽しめます。下関市は幕末の下関戦争の舞台となった長州藩下関前田台場跡。北九州市は門司の旧サッポロビール九州工場で体験できます。



下関戦争と前田台場跡の当事の様子をお手持ちのスマートフォンで体感できます。

*体験用のVRゴーグルについてのお問い合わせは

Tel: 083-252-3867

下関市教育委員会教育部文化財保護課まで

各種おたのしみコンテンツ♪

デジタルブックで

閨門のフグ料理を
楽しもう！

おしゃれなレシピが満載



日本遺産「閨門"ノスタルジック"海峡～時の停車場、近代化の記憶～」

閨門のフグは
おいしい！



平成29年4月、日本遺産に認定された
「閨門"ノスタルジック"海峡～時の停車場、近代化の記憶～」の中の
構成文化財として「フグ料理」が選ばれました。
そこで、閨門エリアに特有いた食文化。
フグ料理の魅力をフルコースでご紹介します。

閨門“ノスタルジック”海峡水先案内人



公式HP案内人



日本遺産講座を受講した
専門の観光ボランティア
ガイドがご案内します。

サイクリング！

サイクリング de ～時の停車場、近代化の記憶～
日本遺産閨門“ノスタルジック”海峡

監修 関門海峡日本遺産協議会

北九州市

下関市



自転車で日本遺産を廻れば、
閨門海峡のディープな魅力に
出会えます。

閨門"ノスタルジック"海峡 サイクリングマップ 下関駅輪場で配布中

老舗 松琴堂



松琴堂は1866(慶応2)年に創業。同年には薩長同盟が結ばれ、その後日本は幕末から明治維新へと、文明開化に向けて大きく舵を切りました。激動の中、閨門港・下関の地で、肅々と菓子をつくり続けて150年余り。山口県産小麦を使ったぼうろは、サクッとした歯ごたえと舌先でさりとて溶ける甘さが自慢の、昔ながらの南蛮焼き菓子です。どうぞ、ひととき、世界への扉が開いた閨門港の時へタイムトリップをお楽しみください。



SNSで交流しよう！

Instagram



Facebook



ノスタルジックなおみやげはいかが？

ふじ珈琲

山口県下関市。カモンワーフから徒歩1分。本格自家焙煎から産まれる珈琲と本物志向の逸品をふじ珈琲がお届けします。

一杯の珈琲が持つ可能性を信じて…

OPEN 月・火・木・金・土・日曜(11:00~17:00)

CLOSE 水曜

〒750-0004 山口県下関市中之町1-14(駐車場あり)

<https://roast-fuji.com/> TEL:083-249-6512

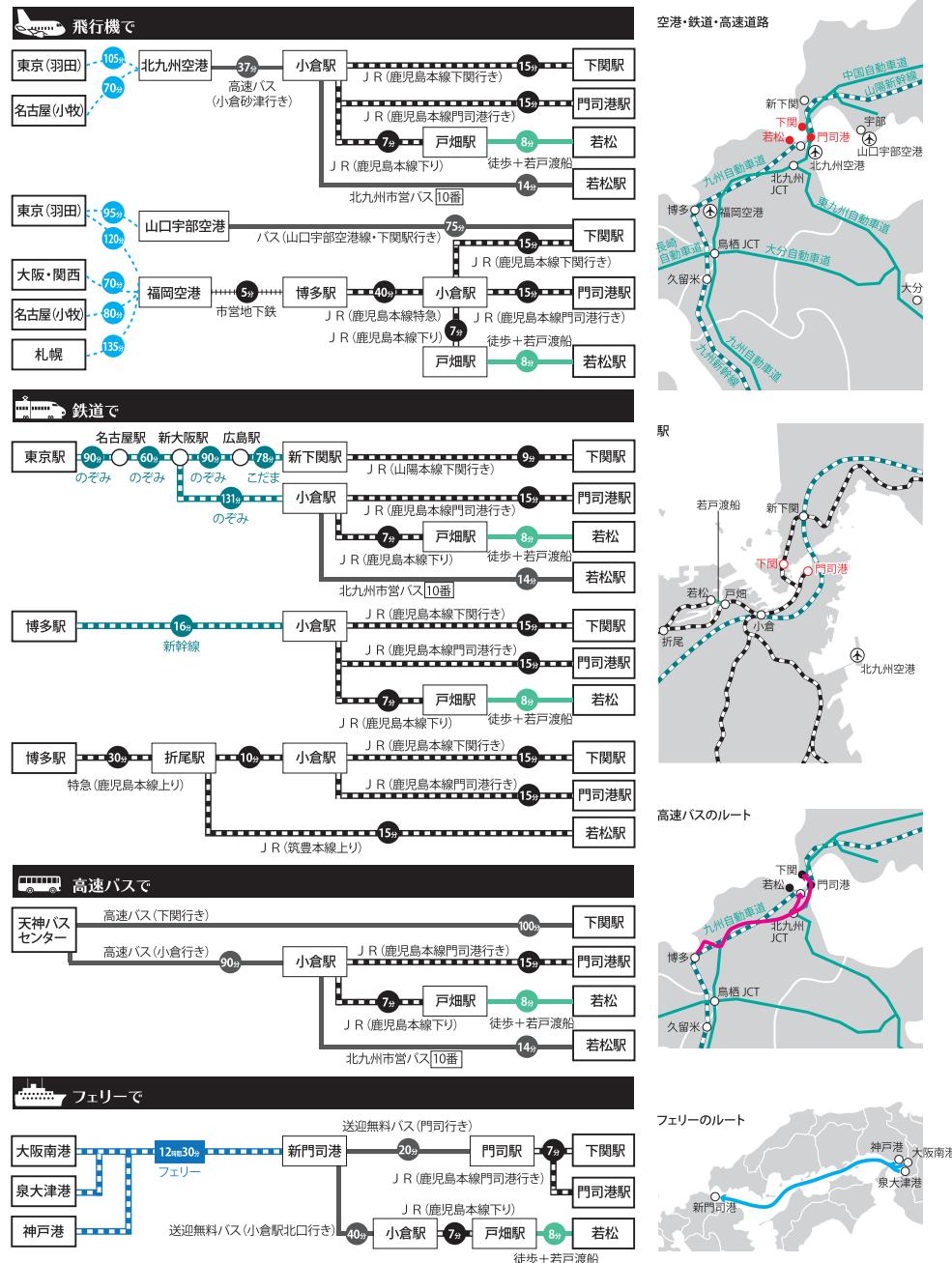
下関・門司の日本遺産「閨門"ノスタルジック"海峡」の建築物と海外との玄関口として活躍していた閨門海峡の珈琲文化に想いを馳せて、「ノスタルジック珈琲」が誕生しました。ふじ珈琲の自家焙煎による歴史のある珈琲豆の香りとコクをお楽しみください。

1個 216円(税込)

5個セット 1,080円(税込)



下関・門司・若松へのアクセス



*所要時間はおよその目安で、乗り換え時間を含んでいません。

北九州市営バス 10番 は便数が少ないので事前に時刻表の確認が必要です。

下関・門司・若松へのアクセス

九州・沖縄・山口の日本遺産

九州・沖縄・山口の歴史・文化・自然・グルメを求めて、日本遺産めぐりをしてみませんか？

- 1 関門“ノスタルジック”海峡
～時の停車場、近代化的記憶～
- 2 古代日本の「西の都」
～東アジアとの交流拠点～
- 3 鬼が仏になった里「くにさき」
- 4 やばけい遊覧
～大地に描いた山水絵巻の道をゆく～
- 5 近世日本の教育遺産群
～学ぶ心・礼節の本源～
- 6 日本磁器のふるさと 肥前
～百花繚乱のやきもの散歩～
- 7 国境の島 壱岐・対馬・五島
～古代からの架け橋～
- 8 鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴
～日本近代化の躍動を体感できるまち～
- 9 米作り、二千年にわたる大地の記憶
～菊池川流域『今昔』『水稻』物語～
- 10 相良700年が生んだ保守と進取の文化
～日本でもっとも豊かな隠れ里-人吉球磨～
- 11 古代人のモニュメント
～台地に絵を描く南国宮崎の古墳景観～
- 12 薩摩の武士が生きた町
～武家屋敷群「麓」を歩く～
- 13 砂糖文化を広めた長崎街道
～シュガーロード～
- 14 八代で創造した石工たちの軌跡
～石工の郷に息づく石造りのレガシー～
- 15 琉球王国時代から連綿と続く沖縄の
伝統的な「琉球料理」と「泡盛」、そして「芸能」

凡例

— 高速道路路線 • IC

各認定ストーリーはこちらから
[日本遺産ポータルサイト](#)

